

ルミネック・ホールディングス企業最新情報

2024 年 1 月 3 日

著名なヒューマニスト研究者であるヘベルト・アルカサル・モンテネグロ教授の娘であるスサナ・アルカサル・レイバ博士はルミネック・ファーマシューティカルズ社 (Luminec Pharmaceuticals) とその子会社であるルミネック・ホールディングス・コーポレーション (Luminec Holdings Corporation) の双方の企業の経営および研究活動の長を勤めています。レイバ博士は、ハンス・セリエ科学研究所所長を務め、メキシコシティのジェロントロジーセンター・アルベルト・ツェント＝ギョルジの創設者であり、メキシコのケレタロにあるヘベルト・アルカサル・モンテネグロ老年学学校の創設者でもあります。これまで何十年もの間、彼女は自身の父親が開発した理論や公式に取り組んできました。アルカサル・レイバ博士によって、X-2 (PPT)、DNSM (DNase)、CRO-50 (RNase)、N-N (NAD+)、および RNA (リボ核酸) など、ヒトと動物の両方に当社独自の処方を使用してきました。天然エピジェネティック再プログラム製剤は、国内および国際的な科学・医学ジャーナルに掲載された 50 以上の査読付き論文に記載された何千ものケーススタディにより、損傷した細胞を修復し、老化プロセスを逆転させることにより、加齢に関連する疾患の治療において他の製品よりも効果的であることが証明されています。

これらの製品は単独使用も、他の製品との併用も可能で、他の療法と矛盾したり競合したりすることがなく、副作用を引き起こすこともありません。そして UNAM、UAM、IPN、CINVESTAV、ECQUC、ESAANUC、UAQ、INER、IN Cardiology、ULSA、INN、CEMIFAR、INB、WR Grace & Co (米国メリーランド州コロンビア)、HN (ドイツ・バイロイト) など、国内外の科学機関で幅広く研究されています。これらの研究の結果は、無数の科学雑誌や専門論文に掲載されています。これらの製品の使用および製造に関心を持つ機関や企業には、チリの Foundation for Health and Eradication of Incurable Diseases at the Service Humanity (人類の健康および難病撲滅財団、1973 年)、ガレファルマ、イベリカ社(1973 年)、また F. ホフマン・ラ・ロシュ、AG 社(1974 年)があります。

ルミネック・ファーマシューティカルズ社は、米国国立アレルギー・感染症研究所 (NIAID) およびバイオメディカル・アドバンスド・リサーチ・アンド・デベロップメント・オーソリティ (BARDA) に対し、医療対策、つまりコロナ監視プログラムの下、最初の申請と面談の要請を完了しています。

ルミネック・ファーマシューティカルズ社の共同設立者であるジョン・エバーディング氏は、「当社の提出した科学的研究と査読付き論文、そして過去と現在の患者記録は、新型コロナやインフルエンザ、呼吸器合胞体ウイルス (RSV)、コロナウイルスなどの RNA ウイルスに対する CRO-50 (リボヌクレアーゼ、溶液中で安定な酵素) と X-2 (チアミンピロリン酸塩、溶液中で安定な補酵素) の併用療法の有効性を示す強力な証拠になります」と述べています。「これらのウイルスは小さく、複製速度が速く、遺伝子を自己修復不能にし、容易に変異するため、パンデミックを引き起こす可能性のある変異を引き起こします。スサナ・アルカサル・レイバ博士のリーダーシップのもと、ルミネック・ファーマシューティカルズ社は、メキシコ、米国、その他の国々で数十年にわたり、ヒトと動物への両方の用途において、ウイルス感染症の治療にこれらの製剤を使用し、成功を収めてきました」。

さらに、これらの独自製剤は、単独でも、またスティーブン・シュットのフリーアミノイオン理論に基づくルミネックの独自製剤であるトリアミノと **TAF400** との併用でも（トリアミノはスティーブン・シュットとジョン・エバーディングによって開発された独自のフルボ酸の添加によって強化）、様々な症状に対して米国連邦医薬品局によって **GRAS**（一般に安全と認められる）に分類されています。

トリアミノと **TAF400** は、スティーブ・クシュナー博士により開発された **PH-713** と呼ばれる強力な送達メカニズムにより、さらに強化されています。この独自の送達システムはエクソソームのようなものであるものの、一般的なエクソソームとは異なり、吸収性に優れ、あらゆるサイズの粒子を送達できます。より重要な点として、**PH-713** は周辺組織に対して直接的な生理学的効果を有し、水性であれ油性であれ、インビトロ、インビボ、吸入投与（カプセル容量 **250～500mg**）、経口投与、局所投与、動脈間・動脈内投与、静脈間・静脈内投与のいずれであっても、化合物の生物学的利用能と滞留性を高めることができます。「我々は、現在および将来起こりうるウイルスパンデミックを緩和するために、我々の研究と記録を提供できることを光栄に思います」、ルミネックの最高科学責任者であるスティーブン・ホルト医学博士 (**MD, DSC, PhD**) はこのように述べています。

開発に **37** 年以上を費やしたトリアミノ式は、ユニークで画期的なアミノイオン放出水素結合分子であり、コピーや再設計は不可能です。この新しい分子は、広範囲の病気や健康状態の治癒を促進する天然成分を含むアミノ酸の水溶性ブレンドです。この分子は、含水溶液中の遊離アミノ酸イオンのイオン力が、機能不全に陥った細胞内の不安定なタンパク質（**3** 次元構造を失った変性タンパク質）を浸水させて結合させることでこれを可能にします。タンパク質折りたたみ因子は、**DNA** のコード化によって指示された本来の構造に従って整列し、安定します。同じことが核酸（**RNA** と **DNA**）でも起こります。変性を受け、コンフォメーション（折り畳まれた状態）を失うものの、トリアミノ式を使って元の構造に戻すことができます。このように、分子の機能はその構造に依存し、分子は他の分子と相互作用し、細胞の恒常性を回復させます。

トリアミノは、核磁気共鳴 (**NMR**) を用いた一連の高度な試験により、評価・検証されています。**2011** 年、ロンドンのインペリアル・カレッジは、シュット氏の「遊離アミノイオン理論」にあるタンパク質の挙動に関する研究と分析を実証しました。さらに、国際的に認知されたバイオリサーチ研究所が、皮下注入、静脈内注射、吸入、経口投与による一連の致死量中央値 (**LD50**) 試験を実施しています。この新しい分子が無毒で副作用がないこと、つまり蒸留水と同じくらい安全であることがあらゆる検査において証明されています。

トリアミノフルベート（商品名 **TAF400**）は、シュット氏とエバーディング氏によって開発された **2** つ目の新しい分子です。このユニークな配合は、トリアミノ分子と炭水化物由来 (**CHD**) のフルボ酸（ミネラル由来のフルボ酸の問題を解消）を組み合わせたものです。**CHD** フルボ酸は化学的に純粋な医薬品グレードで、トリアミノ分子を強化し、人類が知る限り、最も効果的な無毒性、天然、広域スペクトル、抗微生物（抗真菌、抗細菌、抗ウイルス）剤を生成します。この新しい製剤は、細胞の核酸やタンパク質とより容易に結合し、核を **DNA** が本来プログラムしたように機能させます。これは、フルベートがその物理化学的特性から、主にすべてのタンパク質と強く結合するためです。

顔面肩甲上腕型筋ジストロフィー (**Fshd**) 老化した筋肉に特徴的な色素の治療法

スサナ・アルカサル・レイバ博士 著

はじめに

遺伝子は、ミトコンドリア **DNA** とは独立した、細胞核の **DNA**（遺伝子座または部位）に含まれる遺

伝情報の最小分子単位であることがわかっています。

遺伝子は染色体の中に見られる DNA の短い断片です。遺伝子は常に同じ場所にあり、対になっています（対立遺伝子として知られる）。

各遺伝子は生物の子孫に情報を伝達し、その結果、遺伝を担います。遺伝は、合成の際に酵素や他のタンパク質と組み合わされる制御遺伝子に依存します。遺伝子に含まれる情報は、人の身体的特徴だけでなく、先天性の病気も決定し、伝達します。

一方、構造遺伝子にはタンパク質を製造またはコード化する命令が含まれているために遺伝子に変異が生じると、この活性が変化し、特定のタンパク質の合成が阻害され、遺伝病が生じます。

ミトコンドリア DNA もまた、遺伝性、自然発生的、後天的変異を起こすことがあり、炎症性ミオパチー、ジストロフィー（顔面肩甲上腕ジストロフィー）、代謝性、内分泌性、薬剤性ミオパチーなど、筋肉や神経細胞に関連するミトコンドリア病の原因となります。

筋ジストロフィーは、遺伝的欠陥によって引き起こされ、時間の経過とともに筋力低下や運動能力の低下を引き起こします。遺伝的变化は、アルドラーゼ、クレアチンホスホキナーゼ、乳酸デヒドロゲナーゼ、ミオグロビンなど、筋肉を強化し保護する酵素が損なわれているタンパク質に関係しています。

支援的治療の提案

エネルギー代謝の恒常性が失われるなど、遺伝的要因とエピジェネティックな要因が重なると、さまざまな病態を引き起こす可能性があります。

細胞の劣化は、フリーラジカルや活性酸素の生成によってミトコンドリアから始まることがわかっています。フリーラジカルが一定の閾値を超えると、細胞の劣化が始まります。PPT（チアミンピロリン酸またはコカルボキシラーゼ）が作用するのはまさにミトコンドリアであり、エネルギー代謝に関与しています。そのため、PPT は単剤療法として、あるいは生活の質を改善する補助療法として用いられてきました。すべての病気と同じように、この治療法を適時に、つまり症状の発現時に行うことで、組織の萎縮を避けることができます。

ジストロフィー（ジストロフィンをコードする遺伝子の変異）は、通常、炎症性成分のためにグルココルチコイドで治療されますが、抗炎症酵素（溶液中で安定なデオキシリボヌクレアーゼ）を使うことで、ステロイドの副作用を避けることができます。

筋肉のミトコンドリアで行われるエネルギー代謝では、2 種類の補酵素が使われます。コカルボキシラーゼまたは溶液中で安定なチアミンピロリン酸 (PPT) と、溶液中で安定なニコチンアミドアデニンジヌクレオチド (NAD+) で、エネルギー代謝に直接関与する補酵素です。これは、呼吸器系、循環器系、筋骨格系の生理機能を改善するためで、その繊維（筋肉または細胞骨格タンパク質）は構造的・機能的安定性を失いつつあり（サルコメアの無秩序化）、進行性の筋力低下と破壊につながっています。

筋肉は、位置エネルギー（化学的）を運動エネルギー（力学的）に変換する主要な生化学的変換器です。

収縮が遅く持続する赤筋のタイプ 1 線維も、収縮が速い白筋のタイプ 2 線維も、ATP アーゼ活性、す

なわち酸化活性、解糖活性、糖新生活性を必要とします。

グループ 1 の繊維はミトコンドリアが豊富で、酸化活性を有します。ミトコンドリアの数が正常なグループ 2 の線維は、ホスホリラーゼ活性と解糖活性を有します。

収縮と弛緩は、アクチンとミオシンが適切に機能するために、ATP、Ca⁺⁺、Mg⁺⁺を必要とする一連の過程です。ミトコンドリアの障害によって酸素が不足すると、フリーラジカルと酸化ストレスが発生します。これがミオグロビンがメトミオグロビンになる原因です。つまり、ミオグロビンが酸化され（酸化＝電子の損失）、これが酸化ポルフィリンに変換されます。

そのため、ミトコンドリアでの呼吸活動と ATP 生産がうまくいかなくなると、酸化ストレスが増大し、細胞内のタンパク質、脂質、DNA にダメージを与え、病気、老化、がんにつながるメカニズムとなります。

PPT と NAD⁺補酵素は、インビトロ、インビボ、または臨床において、ミトコンドリアの呼吸機能とエネルギー機能を改善します。そのため、適時または予防的な応用が不可欠です。

要約しますと、ルミネック社（米国）と哲学・科学研究所（メキシコ）の製剤は、前例のない人道的かつ経済的なアプローチで、主要疾患の治療法に革命をもたらそうとしています。

ルミネック・ファーマシューティカルズ社は、効果的で安全、科学的に証明された製品を幅広く取り揃える、ヘルスケアの世界的リーダーです。当社の製品は、ホメオスタシスを尊重しています。ホメオスタシスとは、ウォルター・キャノン (1871～1945 年) による造語で、細胞や無数の生理学的プロセスに安定性を与える、内部的、構造的、機能的な恒常性を指します。簡単に申し上げますと、当社の製品は人間と動物の両方の健康を回復し、長寿を促進します。

ジョン・エバーディング

ルミネック・ホールディングス・コーポレーションおよびルミネック・グループ企業共同創業者
全米退役軍人の権利協会共同創設者
メディアシーム・プロダクション 共同設立者兼ディレクター

スサナ・アルカサル・レイバ博士

ルミネック・ホールディングス・コーポレーションおよびルミネック・ファーマシューティカルズ取締役兼科学責任者
哲学・科学研究所所長
ヘベルト・アルカサル・モンテネグロ老年学学校校長
ハンス・セリエ科学研究所所長

機密情報文書

Triamino、TAFA400、X-2、DNSM、CRO-50、N-N、RNA はルミネック・ホールディングスおよび/またはスサナ・アルカサル・レイバ博士の登録商標です。